

高松小学校コミュニティ・スクール

高小コミスクだより

No.6 平成29年12月
かほく市立高松小学校
校長 喜多由紀
CN (コーディネーター)
楠 千恵

高松小学校のホールにクリスマスツリーが綺麗に飾られ、子どもたちも喜んでます。12月もあとわずかになりました。今年も、保護者・地域の皆様方にたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。



生き方を学ぶ～パート2～



4年生は、10月から総合的な学習の時間に福祉の学習をしています。11月16日には、濱本真由美さんをお迎えし、耳の不自由な方について教えて頂きました。耳が聞こえないことで困ることや、聞こえないことにもいろいろな状態があることなどを詳しく教えていただきました。補聴器や手話や口話、空書、筆談などを使って対応されていることも学ぶことができました。

また、「要約筆記」という仕事を実際に見せていただきました。濱本さんの言葉を的確に伝えるため、話されたことをロール紙に書き、テレビで映していました。ロール紙に書く人、間違いないか点検して紙をずらす人、書き足りなかったことを表す人が、交代で仕事をされていました。子どもたちの代表者が、要約筆記の体験をすることもできました。話したことが正しく伝わることの大切さを知ることができました。



国語の学習をより深めるための活動

5年生は、「百年後のふるさとを守る」という文章を学習するために、その中に出てくる和歌山県の偉人である浜口儀兵衛さんについて、詳しく知っておいでる越野正勝さんに教えていただきました。浜口儀兵衛さんは、江戸時代に発生した大地震による津波から村人を守るために、稲むらに火をはなち、災害が来ることを知らせ、村人を助けました。その「稲むらの火」の紙芝居を迫力のある声で読み聞かせをしていただき、浜口さんの功績について、時代背景も含め教えていただきました。子どもたちは、学んだことから国語学習をより深めることができました。



未来の自分をさがろう

11月28日、6年生が総合的な学習の時間に「未来の自分を探ろう」という学習を行いました。工務店経営の大西啓介さん、大工さんの櫻井一樹さん、元プロサッカー選手の西川周吾さん、パティシエの森田薫さん、安藤由美子さん、保育士の笠井知恵子さんに仕事の楽しさ、やりがい、苦労などを実演もして頂きながら楽しく教えていただきました。



カンナがけ



元プロスポーツ選手の夢



ケーキ作り



エプロンシアター

子どもたちは、“今まで知らなかったことがわかり、その仕事につきたいなあとと思った。”“好きな仕事でも苦労はあるが、乗り越えていくことが大事だとわかったから、頑張っていきたいと思った。”など、充実した時間となりました。

まちかど交流館の作品をご覧くださいありがとうございました



高学年の作品

11月15日から12月9日まで、まちかど交流館で、高松小学校の児童の作品を展示させていただきました。高学年と低学年に分け、絵画、習字、総合的な学習の時間のまとめ、家族へのメッセージ、標語など、いろいろな作品を家族の方や地域の皆様に見ていただくことができました。足を運んでいただいた皆様ありがとうございました。



「地域の方との交流コーナー」にお越しください

高松小学校の2階に「地域の方との交流コーナー」があります。地域の方の作品が展示されています。作品をご覧になったり、地域での子どもの様子や花壇のことなどをお話ししたり、子どもと関わりをもっていたら嬉しいです。



地域の方が撮影した星の
写真

開いている日は、1月23日（10:00～12:00）です

作品鑑賞や子どもたちとの触れ合いに、どうぞ、お気軽にお越しください。